

特定施設設置届出書

届出年月日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

小樽市公営企業管理者

水道局長 〇〇 〇〇 様

申請者

小樽市△▽〇丁目☆☆番◎号

住所

TEL 0134-00-0000

氏名又は名称及び  
法人にあたっては  
その代表者の氏名

□□〇×株式会社  
代表取締役社長  
☆☆ 太郎

記入例

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□〇×株式会社 ☆☆ 整備工場	※ 整理 番号	
工場又は事業場の所在地	小樽市☆☆丁目〇〇番××号	※ 受理 年月日	令和 年 月 日
特定施設の種類	70の2 車両洗浄施設	※ 施設 番号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	※ 審査 結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙のとおり	※ 備考	
△ 汚水の処理の方法	別紙のとおり		
△ 下水の量及び水質	別紙のとおり		
△ 用水及び排水の系統	別紙のとおり		

- 備考
- △印の欄の記載については別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - ※印の欄には記載しないこと。
  - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

1. 工場又は事業場の概要  
特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

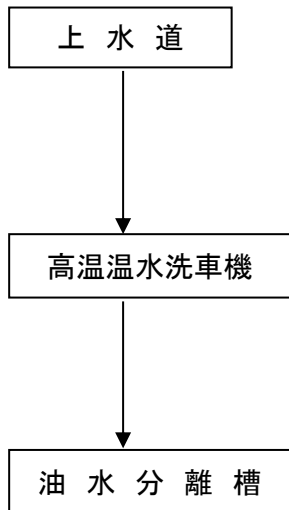
業種	自動車特定整備事業	資本金	〇〇〇〇万円	敷地面積	〇〇〇〇m <sup>2</sup>
操業年月日	〇〇年 〇月 △日	従業員数	5 ( 20 ) 人	作業場面積	〇〇△m <sup>2</sup>
操業時間	8時~20時 ( 12 時間)	休業日	無休	水質管理責任	工場長 水質太郎

(2) 主要製品名及び生産量

屋内作業場の内、車両整備、点検、部品整備作業場の合計面積が800平方メートル以上の事業場が該当します。

(3) 操業の系統 (作業工程フローシート)

# 記入例



(4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	①			
施設の種類	高温温水洗車機			
型式	〇〇〇社製 D P - 2 0 型	メーカー名、機種を記載(カタログを添付)		
構造	鋼鉄製			
主要寸法	L W H 000×000×000 cm			
能力	3 台 / 時 4 0 0 L / 台	時間あたりの最大使用水量を記入してください		
工事着手(予定)年月日	令和〇〇年 △月×日			
工事完成(予定)年月日	令和〇〇年 △月×日			
使用開始(予定)年月日	令和〇〇年 △月×日			
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	9時から16時 連続7時間/日			
季節変動の概要	なし			
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	洗剤〇〇L ワックス〇L			
その他	1 台			

記入例

(5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関する機械・装置の配置 別添第(1) 図のとおり

施設の設備図面を添付してください。

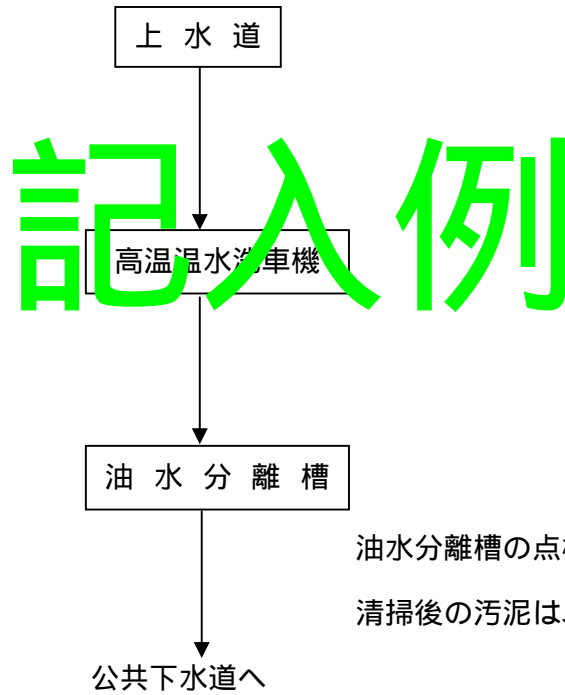
(6) 特定施設等から排出される汚水等の汚染状態

施設 の 名 称		高温温水洗車機			
汚 水 量 ( $m^3$ /日)	通常	$m^3$ /日			
	最大	$m^3$ /日			
水	ノルマル ヘキサン	通常			
		最大			
質		通常			
		最大			
単位		通常			
		最大			
mg/L		通常			
		最大			
pH		通常			
		最大			
を 除 く		通常			
		最大			
		通常			
		最大			
すべて計画値で記載					

記入例

2. 除害施設の構造及び使用の方法  
汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統

(1) 汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明



油水分離槽の点検と清掃は定期的を実施する。

清掃後の汚泥は、産業廃棄物として業者へ処分委託する。

最大使用量  $m^3 / 日$

(2) 処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材

処 理 施 設 の 称	油 水 分 離 槽				
型 式	重 力 式 4 槽 式				
構 造	コ ン ク リ ー ト 製				
主 要 寸 法	L W H 000×000×000 c m				
付 属 機 器 類	な し				
能 力	有 効 容 量 1 . 2 m <sup>3</sup>				
処 理 の 方 式	自 然 浮 上				
工 事 着 手 ( 予 定 ) 年 月 日	令 和 ○ ○ 年 △ 月 × 日				
工 事 完 成 ( 予 定 ) 年 月 日	令 和 ○ ○ 年 △ 月 × 日				
使 用 開 始 ( 予 定 ) 年 月 日	令 和 ○ ○ 年 △ 月 × 日				
使 用 時 間 間 隔 及 び 1 日 あ た り の 使 用 時 間	9 時 から 1 6 時 連 続 7 時 間 / 日				
季 節 変 動 の 概 要	な し				
消 耗 資 材 の 途 量 及 び 使 用	吸 着 マ ッ ト 4 枚 ・ 3 ヶ 月 に 1 回 交 換				
そ の 他	詳 細 別 添				

記入例

使用する場合のみ  
記入してください。

分離槽の設計図面か  
仕様書を添付してくだ  
さい。

(3) 処理施設の設置場所及び配置 別添第 ( ) 図のとおり

図面を添付してください。

(4) 処理施設別 汚水量及び水質

処理施設の名称		油水分離槽				
汚水量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	m <sup>3</sup> /日				
	最大	m <sup>3</sup> /日				
水	ノルマル ヘキサン	処理前				
		処理後	5以下			
質		処理前				
		処理後				
		処理前				
		処理後				
(単位		処理前				
		処理後				
・ mg/L ・		処理前				
		処理後				
pH を除く )		処理前				
		処理後				
		処理前				
		処理後				

記入例

全て計画値で記載

( 5 ) 汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等

残さ等の種類	浮上油・土砂	
生成量	m <sup>3</sup> / 日	
含水率		
保管方法		
処理・処分の方法	(株) に処分委託	
最終処分先	北海道××市 町 番地	

( 6 ) 施設の建設費等

建設費	機械工事	土木工事	電気工事
	円	円	円
	その他( )		
	円		
維持管理費	なし		
建設資金計画	自己資金	借入( )	その他( )
	円	円	円
施工業者	株式会社 市 町× 番地 TEL 0000-00-0000 担当 二郎		

( 7 ) 使用水量 ( m<sup>3</sup> / 日 )

給水源 \ 用途	原料用水	洗浄用水	冷却用水	生活用水	その他 ( 希釈用 )	合計
上水道		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>
工業水道						
その他の ( 地下水 )						
合計		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>

( 8 ) 用水及び排水の系統 添付第 ( ) 図のとおり

図面を添付してください。



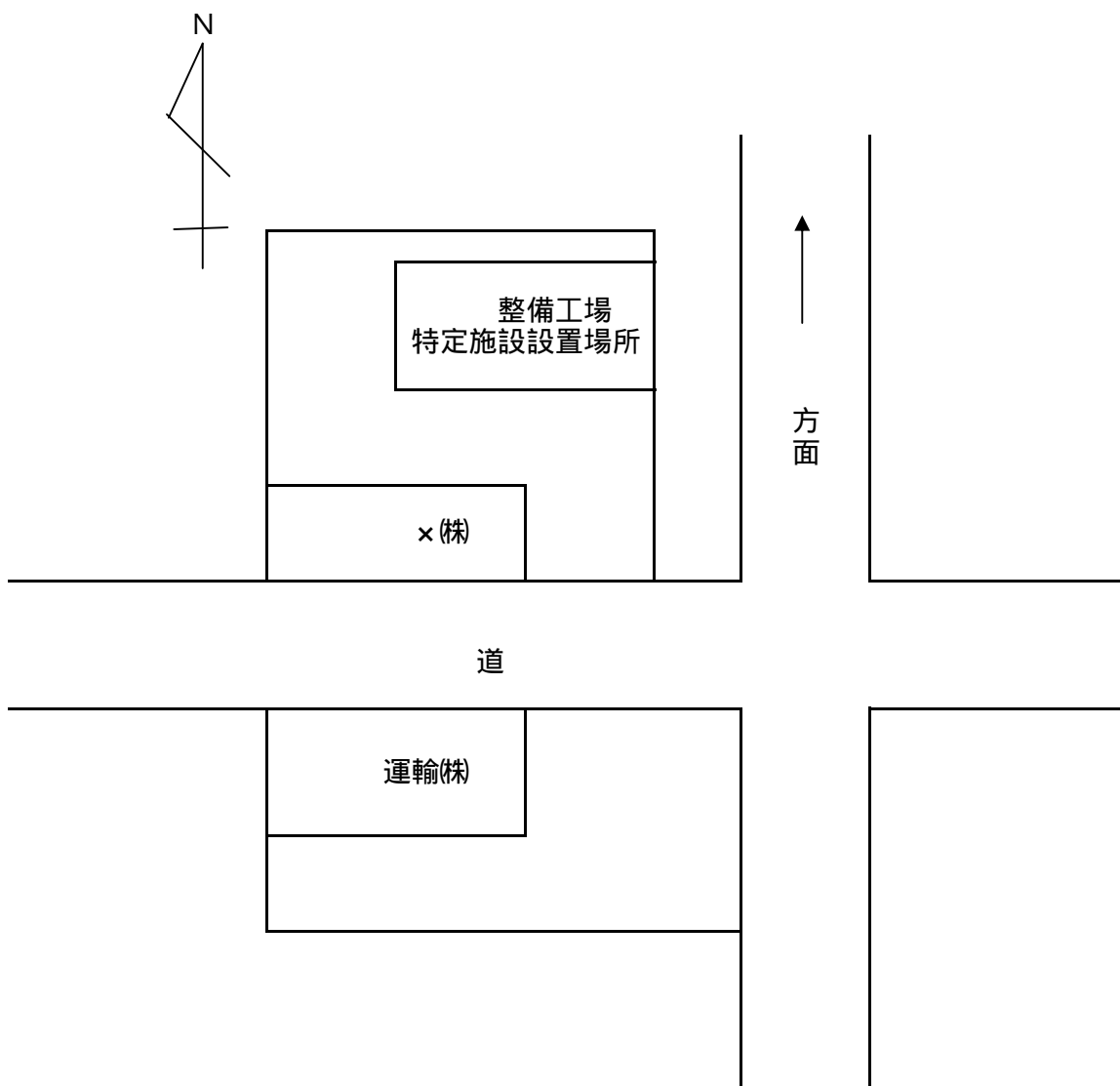
( 9 ) 公共下水道へ排除する下水の量及び水質

排 出 口 番 号		1				
排 出 口 の 名 称		工 場 正 面 右 横				
排 水 量 ( m <sup>3</sup> / 日 )	通常	m 3 / 日				
	最大	m 3 / 日				
ノルマル ヘキサン	通常	5 以下				
	最大	5 以下				
水	通常					
	最大					
質	通常					
	最大					
( 単 位 ・ mg / L ・ pH を 除 く )	通常					
	最大					
	通常					
	最大					
	通常					
	最大					
	通常					
	最大					

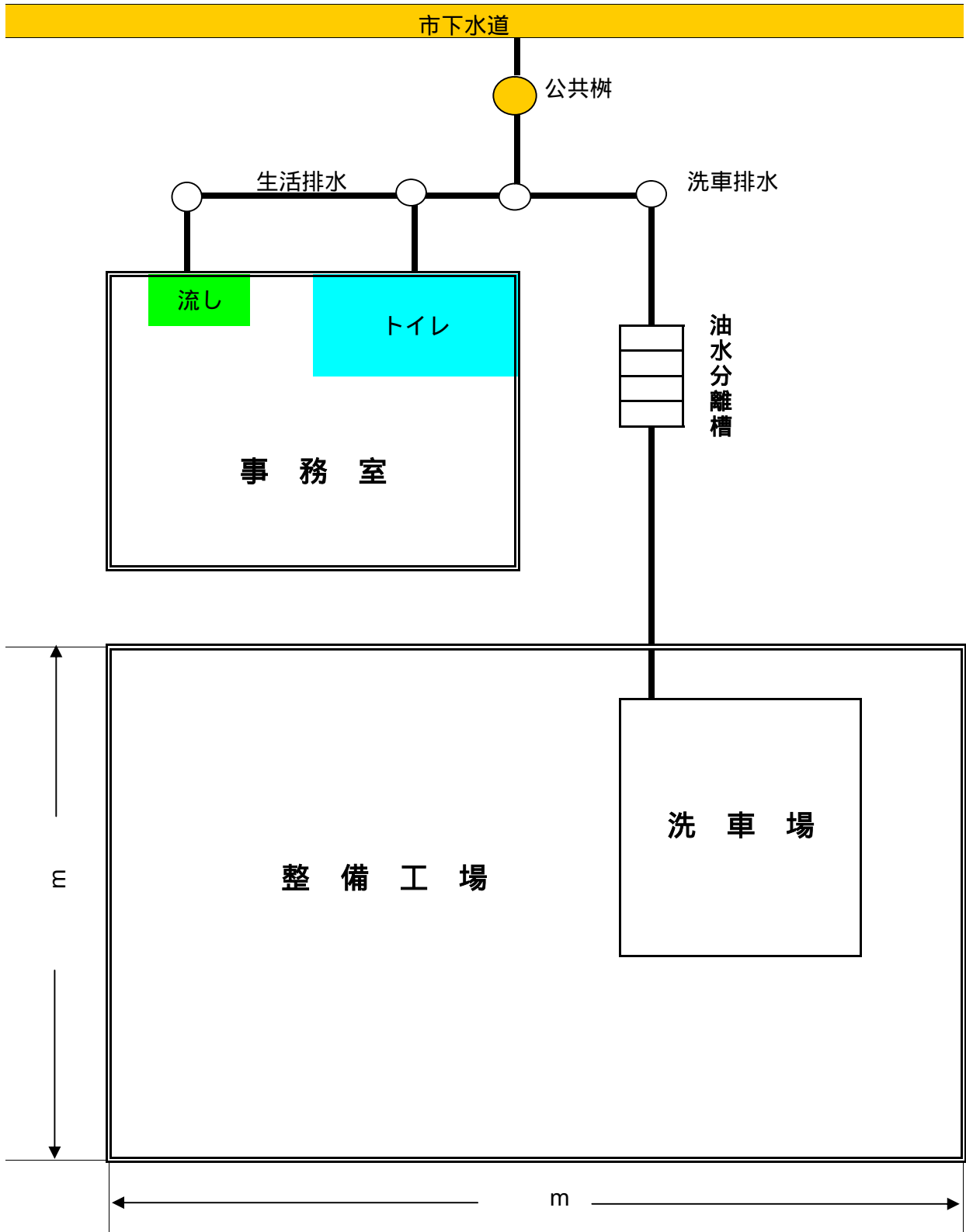
記入例

全て計画値で記載

付近見取図



# 排水系統図(記載例)



雨水系統と区別して記入してください。